

筑波トランスパシフィックプログラム (TPPP)

2025 年度 ペルー・カトリカ大学 短期研修参加学生 募集要項

1. 趣旨

筑波トランスパシフィックプログラム (TPPP) は、地球規模課題の解決に向けて広く社会の安全・安心に貢献する中核的な人材の育成を目的に、主としてペルーの連携大学での短期研修（派遣）プログラムを実施する。

2. 研修内容

本学の協定校において、ペルー（中南米）の歴史・文化・慣習に関する講義を受講し、また、現地で活躍する日本企業等への訪問、講義、インタビューをとおして現地への理解を深める。学びに基づき、よりよい日本とペルーの関係性について現地の学生とディスカッションし、最後に英語でプレゼンテーションをする。ペルーへの渡航に加え、渡航前の 2 もしくは 3 回の事前研修への参加、及び帰国後の研修成果報告書の提出と成果報告会への参加が必須。また、成果報告会にて各自日本語（もしくは英語、スペイン語）でプレゼンテーション発表を行う。

3. 派遣概要

派遣先 : ペルー・カトリカ大学
派遣期間（予定）: 2026 年 3 月 1 日（日）～3 月 13 日（金）※今後、変更の可能性あり
募集人数 : 5～10 名程度（最小催行人数 : 5 名）
使用言語 : 英語及びスペイン語（スペイン語のレベルは問わない）
単位 : 2 単位 (8070307 国際パートナーシップ研修（中南米))
費用 : 自己負担（航空券代、宿泊代、食事代など合わせて 40 万円程度）
支援金 : 「はばたけ！筑大生」申請中（詳細未定）支給予定（20 万円／1 名 を予定）

4. 応募資格及び条件

(1) 派遣期間中を通して、本学の学群又は大学院の正規課程に在籍する者

なお、次の者は申請不可

- ・派遣期間中に休学する者（渡航までに復学していれば、休学中の申請は可能）
- ・ダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム等を実施する海外の大学との協定書により本学の学生となる外国人留学生

(2) 本プログラムの目的や活動内容を十分理解し、それに沿った活動ができ、本プログラムでの学び

- を今後の研究活動や課題解決に積極的に還元する意欲をもった者
- ※事前・事後研修を含む全日程に参加すること
- ※報告書の提出、及び報告会への参加・発表を行うこと
- (3) TPP 事務局との定期的な連絡体制を確保できる者
- (4) スペイン語の学習履歴及び学習意欲のある者を優先
- (5) 渡航・滞在中の事件や事故、災害、感染症に備えて下記の 3 つすべてを行うこと
- ① 海外渡航システム (TRIP) の作成
 - ② 海外安全危機管理サービス (OSSMA) への加入 (費用は自己負担)
 - ③ 海外旅行保険への加入 (費用は自己負担)
- (6) 「8070307 国際パートナーシップ研修 (中南米)」を履修すること

5. 応募方法

(1) 提出書類

- ① 申請書
- ② 保証人の承諾書
- ③ 肖像の使用に係る承諾書兼個人情報の取扱に関する同意書
- ④ 成績証明書
- ⑤ パスポートの写し (顔写真のある頁。未取得の場合はその旨メール本文に書き知らせること)
- ⑥ 語学能力試験の証明書の写し (TOEFL, TOEIC, IELTS, DELE 等の受験経験がある場合)

※①～③は該当の様式をダウンロードすること。

※①～⑥すべてを 1 つの PDF ファイルにまとめて提出すること (ファイル名に必ずフルネームを含めること)。他の形式 (画像データ等) では受付不可。

(2) 提出先

下記 UTOS フォルダに提出書類をアップロードの上、筑波トランスパシフィックプログラム事務局のメールアドレス宛に連絡すること。

【UTOS フォルダ】

https://utos.tsukuba.ac.jp/public/2AJkAM7AcaAH9VCrJjRW_o8M4WMUYTaMrOIAov48Hc_7

【筑波トランスパシフィックプログラム事務局のメールアドレス】

latinamerica-pj@un.tsukuba.ac.jp

(3) 提出締切

2025 年 11 月 20 日 (木) 17:30 11 月 27 日 (木) 正午

6. 選考方法

書類選考後、面接選考を実施。

面接の詳細及び日程については、書類選考通過者にメールにて通知予定。

7. 旅費支援

~~2025年度筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）に申請中。採択結果含む詳細は、2025年10月現在、未定。「旅費支援がない場合は不参加」という学生は、応募時のメール本文にその旨を必ず記載すること。なお、はばたけ！筑大生について参加人数全員分の採択がされなかった場合、2025年春学期までのGPAに基づき旅費支援者を選定予定。~~

~~2025年度筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の支援対象（TPPP事務局が申請を行い、採択結果を受領済み。支援対象は最大10名）。支援金額は1名あたり20万円、返済は不要。受給に関する詳細は、本プログラム参加決定者に別途通知予定。~~

8. 費用

航空券代・海外旅行保険・OSSMA・各種予防接種・空港までの往復交通費・滞在費（宿泊費、食費、現地交通費等）・雑費・パスポート、ESTA各申請料及び申請にかかる手数料等

※航空券及び宿泊先については、研修の遂行にかかる安全管理の都合上、TPPP事務局にて決定の上、まとめて手配予定（支払いは各自。TPPP事務局の指示に従い、必ず期日までに支払いをすること）。同便・同宿泊先の代金が、指定金額より安いからと別途インターネット等から自身で手配することは認めない。可能な限り廉価となるよう配慮するが、物価上昇および円安の影響、並びに安全性等の観点を踏まえ、自己負担額が40万円を超える可能性もある。その点を十分に承知の上で応募すること。なお、はばたけ！筑大生に採択された場合であっても、当該支援金はプログラム終了後に支給されるため、参加前に概ね40万円程度の現金を自身で用意する必要があることを理解しておくこと。

9. 予防接種

厚生労働省検疫所FORTHのホームページ等を参照し、自身の責任により受けること。

※予防接種の種類によっては、数回（2～3回）接種する必要があるものもあるため、なるべく早く医療機関や検疫所で接種するワクチンの種類や接種日程の相談をすること。

10. 留意事項

以下について理解し、あらかじめ了承すること。

- 1) 過去に本研修（及びTPPPによる留学）に参加したことのない学生を優先する。
- 2) 参加者が5名に満たない場合、研修は中止となる。
- 3) 宿泊先では相部屋となる場合がある。

- 4) 連絡は適宜メール及び Teams にて行う。メール、Teams は隨時確認し、遅延なく返信すること。
選考に通過した後でも、プログラム参加に必須である「定期的な連絡体制を確保」することができないと判断される学生については、参加を取り消すことがある。
- 5) 学生本人の都合によるキャンセルで発生した費用は、学生の負担となる（プログラム不参加の場合、はばたけ！筑大生の支援金についても支給対象外となる）。
- 6) 本プログラムは、国際情勢や世界的な感染症等を鑑み、中止となる可能性がある。中止の判断はできる限り迅速に行うが、やむを得ず急遽中止となつた場合でも、準備にかかった費用については自己負担となる。

11. 全体のスケジュール／流れ（あくまで 2025 年 10 月時点での予定）

2025 年 11 月 27 日（木）	募集締め切り
2025 年 12 月初旬	書類選考通過者向け面接審査（オンライン）
2025 年 12 月中旬	結果通知、プログラム詳細・日程決定
2026 年 1 月下旬	第 1 回事前研修会
2026 年 2 月	第 2・3 回事前研修会
2026 年 3 月初旬～中旬	短期研修プログラム催行
2026 年 3 月下旬	研修後報告会

〔問い合わせ先〕

筑波大学 学生交流課 筑波トランスパシフィックプログラム事務局

e-mail : latinamerica-pj@un.tsukuba.ac.jp

※質問がある場合、メールにて問い合わせること。